

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	子育てに優しいまちづくりに向けたキャンペーン						掲載ページ		
							79		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		10,310	千円	0	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	安心して子どもを生み育てることができるように、本市が子育てで日本一を実感できるまちづくりを進めていることを、広く市民にPRするとともに、行政のみならず、身近な地域においても、子育て家庭を支える環境づくりに取り組んでもらえるよう、キャンペーン（「すくすく子育てフェスタ」）を実施し、地域社会全体で子育てを支える環境づくりを進めます。					
活動計画		平成25年12月21日に、西日本総合展示場新館にて、「すくすく子育てフェスタ」を開催します。					
活動指標		指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
		「すくすく子育てフェスタ」の来場者数					
		来場者数の増加が、より多くの市民にPRすることにつながることから、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 10,000人（26年度）	8,600 人	8,600 人	10,700 人 124.4 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
		来場者アンケートで「大変良かった」「良かった」と回答した割合 来場者の満足度を測る指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）	99.2 %	増加	93.3 %	順調 やや遅れ 遅れ	大変順調

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成25年12月21日に「すくすく子育てフェスタ」を開催しました。54団体が参加し、10,700人の来場者に行いました。来場者アンケートで「大変良かった」「良かった」と回答した割合は若干下がったものの、93%を超える人が満足していることや、「すくすく子育てフェスタ」の来場者数については、最終目標数を上回っていることから大変順調としました。市の施策や地域における支援活動のPR、親子のふれあいの場の提供などを行うことは、「子育ての悩みや不安の解消」に向け、高い効果が期待できるとともに、本市が子育てで日本一を実感できるまちづくりを進めていることを実感してもらえる良い機会となっています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	イベント実施にあたっては競争入札を行うとともに、地域で子育て支援活動に携わっている企業・団体等の協力を得て、経済的・効率的な運営を行っています。また、全国的に注目度の高い「ファザーリング全国フォーラムin九州」と同時開催したことにより来場者も増えました。また、本市が子育てで日本一を実感できるまちづくりを進めていることをPRするのは、本市自身が行うべきであり、実施主体として市が適切であると考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
平成26年度以降は、子どもの館等で実施している各種事業を通じ、地域社会全体で、子育て家庭を支える環境づくりに取り組みます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	子ども家庭レポートの発行						掲載ページ
							79
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		8,438 <small>千円</small> <small>「子育てに関する情報提供・PR事業」の総額。本事業はその一部。</small>	3,216 <small>千円</small> <small>「子育てに関する情報提供・PR事業」の総額。本事業はその一部。</small>	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 安心して子どもを生み育てることができるように、本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データを盛り込んだ「子ども家庭レポート」を発行し、幅広く市民に周知することにより、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。				
活動計画	平成25年10月頃に、「子ども家庭レポート」の発行を行います。	活動実績	「子ども家庭レポート」を平成25年10月に1,800冊発行し、親子ふれあいルーム、子ども館、子育てふれあい交流プラザ、保育所等を通じて、市民に周知を図りました。		
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） <small>（上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→ 【活動の状況】
	「子ども家庭レポート」の発行				
	「子ども家庭レポート」を発行することが、幅広く市民に本市の子ども家庭行政を周知することにつながるため、活動指標として掲げました。 <small>（最終目標と最終年度）</small>	発行	—	発行	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	<small>（最終目標と最終年度）</small>				大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
	<small>（最終目標と最終年度）</small>				大変順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データを盛り込んだ「子ども家庭レポート」を平成25年10月に発行し、幅広く市民に周知を図ることにより、子どもの成長と子育てを地域で支える環境づくりを進めました。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 契約の際には複数社から見積書を徴するなど、経済的・効率的な作成・発行に努めています。本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データ等の取りまとめについては、市のみが可能であり、実施主体としては市が適切であると考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

26年度においても、本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データ等を幅広く市民に周知する、「子ども家庭レポート」を作成・発行します。
--

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	人にやさしいまちづくりの推進							掲載ページ	
								79	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		5	千円	532	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	総務課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	子どもから高齢者まで誰もが住み慣れた家庭や地域で安心して快適に生活できる「人にやさしいまち」を実現するため、年齢や障害の有無などの違いを相互に理解し、尊重し合う「心のバリアフリー」を推進するための啓発事業や情報提供を行います。					
活動計画	人にやさしいまちづくり週間（バリアフリーウィーク）の実施や人にやさしいマークの普及など、心のバリアフリーの推進に向けた市民啓発、情報提供等の取り組みを行います。						
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	バリアフリーウィーク関連事業の参加延べ人数						
	「心のバリアフリー」への関心を向上させる契機としての啓発機会をどの程度提供できているかを図るため、バリアフリーウィーク関連事業の参加人数を活動指標とします。 (最終目標と最終年度) 20,000人 / 平成26年度	26,180 人	20,000 人	27,074 人 135.4 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 順調	
	(最終目標と最終年度)						

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	当初計画どおり、バリアフリーウィークや人にやさしいマークの配布等、各種啓発事業を実施しました。多くの市民がバリアフリーウィーク期間中の各事業に参加し、バリアフリーについて考える機会になりました。本事業の実施によって人権尊重の精神につながる「心のバリアフリー」が推進されているものと考えます。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係団体がそれぞれ行っているバリアフリーに関連するイベントや啓発活動について、人にやさしいまちづくり週間（バリアフリーウィーク）を設定し、期間中に集中してPR・啓発することにより、低いコストで効果的な啓発が行えるよう努めています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
これまでの実施事業の内容や成果についての検証を行いながら、人にやさしいまちづくりを推進する事業を行いたいと考えています。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	子どもの人権に関する啓発						掲載ページ		
							79		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		108,320	千円	74,997	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	人権文化推進課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	子どもの人権を尊重する意識を高めるために、人権週間記念講演会、ふれあいフェスタなどの行事や、人権啓発映画の制作・放送、人権を考えるラジオ番組「明日への伝言板」の制作・放送、人権の約束事運動などを通じて、子どもの人権についての普及・啓発に努めます。		活動実績 今年度は、人権週間記念講演会のテーマの一つとして、子どもの人権をテーマとした講演会を実施しました。また、ギラヴァンツとの親子人権サッカー教室の実施や、幼児～小学校低学年向けの啓発絵本の制作を行いました。			
活動計画	子どもの人権についての普及・啓発に努めるため、下記の事業を実施します。 ・ふれあいフェスタ ・明日への伝言板放送 ・人権講演会の実施 ・啓発冊子の作成 ・親子サッカー教室の実施 ・人権の約束事運動						
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	ふれあいフェスタ等参加者数		7,200 人	8,000 人	8,300 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	人権尊重の理念は、ふれあいフェスタや人権講演会などに参加することにより高められると思われま。これらの事業を継続して実施することが、人権問題に対する正しい理解を深め、人権を自分自身の課題としてとらえられる市民が増えることにつながります。 （最終目標と最終年度） 平成31年度 8,500 人				103.8 %		
						順調	順調
（最終目標と最終年度）					やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		人権週間記念講演会、ふれあいフェスタ、人権を考えるラジオ番組「明日への伝言板」等は、概ね例年通り、予定通り実施しました。ふれあいフェスタ等の参加者数も目標を上回りました。平成25年度は、発達障害に関する映画を制作し、今後の人権啓発に役立てていきます。また、ギラヴァンツ北九州とともに、人権親子サッカー教室を開催し、スポーツを通して人権の大切さを直接子どもに訴えることができる効果的な啓発であったと考えます。
		人権啓発事業については、それぞれの業務において、ノウハウをもつ民間業者による企画コンペを行っており、また、各種啓発事業の内容を見直し、経費の縮減を図りながらも、より効果的な啓発となるよう工夫し、経済性・効率性が高められるよう努めています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
人権週間行事、ふれあいフェスタ、人権を考えるラジオ番組「明日への伝言板」など、人権啓発活動に引き続き取り組みます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	子育てに優しいまちづくり(地域の子育て支援)の推進						掲載ページ		
							80		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		5,249	千円	4,000	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →					【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	地域ぐるみで子育てを支える取り組みを進めていくため、小学校区単位を基本に、市民センター等を拠点とした子育て支援活動を促進します。				活動実績	20地域に補助金の交付、アドバイザーの派遣、人材育成研修会(10、12月)及び活動事例報告会(3月)を開催しました。採択地域においては、地域の実情に応じた、地域ぐるみの子育て支援活動を展開しました。		
活動計画	平成25年度は20地域を採択し、財政的支援(子育て支援活動経費として10万円を交付)、人的支援(アドバイザーを地域に派遣し子育て支援活動をサポート)、人材育成支援(子育てに関する研修会(年2回実施)や活動事例報告会(年度末実施)を行います。								
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)		→	【活動の状況】	
	支援地域数		20 地域	20 地域	20 地域	100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	地域ぐるみで子育てを支えるには、各校区のまちづくり協議会を核としたネットワークによる地域での子育て支援活動の展開が望ましく、地域の実情に応じた子育て支援活動を実施する地域数を拡充していく必要があると考え、支援地域数を活動指標とします。								
	(最終目標と最終年度)						順調	大変順調	
	(最終目標と最終年度)						やや遅れ		
	(最終目標と最終年度)						遅れ		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	<p>活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> <p>活動の状況については、計画どおりの20地域で、地域の実情に応じた様々な子育て支援活動が実施されたことから、大変順調としました。 また、地域が主体となって地域の特色を活かしながら積極的に子育て支援活動に取り組んでいることから、事業目的を達成する上で大変有効であると考えます。</p>
	【経済性】 【効率性】 の分析	<p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p> <p>本年度、実施した研修会や活動事例報告会では、支援地域以外からの参加者もあり、本事業についての関心やニーズが高いことが確認されました。このことから、支援地域以外においても、自主的に子育て支援活動へ取り組むこととなれば、効率的に本事業の目的が達成できると考えます。 身近な地域で子育てをさせる仕組みをつくるとともに、子育てを地域で支えるという意識を市民に啓発する必要があることから、実施主体としては市が適切であると考えます。</p>

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
<p>引き続き、身近な地域で子育てを支える取り組みに支援を行い、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。</p> <p>また、早期に北九州市全体に子育て支援活動を実施する地域数を増やしていくことが必要であることから、アドバイザーの派遣に力を入れたり、人材育成研修会や活動事例報告会が充実したものになるよう検討します。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	赤ちゃんの駅登録事業						掲載ページ		
							80		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,294	千円	1,300	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	安心して子どもを生み育てることができるように、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やおむつ替えができる施設を、「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを進めます。また、本事業については、公共施設だけでなく、民間事業者の協力も得るなど、地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めます。					
活動計画	「赤ちゃんの駅」登録施設数増や利用促進に向けて、チラシ等を活用したPR活動を行うほか、「すくすく子育てフェスタ」会場でもPR活動を行います。登録施設には、利用者が気軽に立ち寄れるよう、目印となるステッカー等を目立つ場所に掲示します。						
活動実績	下記のほか、チラシや啓発グッズを配布し利用促進に向けたPR活動を実施しました。						
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	「赤ちゃんの駅」登録施設数						
	「赤ちゃんの駅」登録施設数が増加することが、乳幼児を持つ保護者の利便性の向上につながるため、活動指標に掲げました。 <small>（最終目標と最終年度） 300ヶ所（26年度）</small>	352 件	300 件	353 件 117.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調	
	<small>（最終目標と最終年度）</small>						

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「すくすく子育てフェスタ」会場でPRチラシと啓発グッズを配布し、臨時赤ちゃんの駅を設置するなど、「赤ちゃんの駅」登録施設数増や利用促進に向けたPRを効果的に実施し、地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めました。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	「赤ちゃんの駅」登録施設の拡充にあたっては、公共・民間施設を問わず、既存の施設を有効活用することとしており、経済的・効率的な登録施設の拡充に努めています。子育てしやすい環境づくりは市が主体で行うもので、市が積極的に関与する必要があります。また、「赤ちゃんの駅」登録施設の拡充のため、民間事業者の無償協力を得るには、実施主体としては市が適切です。今後は、民間活力の導入も検討していきます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
26年度においても、登録施設数の増加に向けた協力依頼を行うとともに、「赤ちゃんの駅」の認知度向上や利用促進に向けたPR活動を行い、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを進めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	親子ふれあいルーム整備事業							掲載ページ	
								80	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		32,479	千円	32,898	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか 乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減するため、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができるスペースを既存の公共施設を活用しながら、区役所や児童館などに整備し運営します。	活動実績	区役所等7か所の親子ふれあいルームについては、委託により運営を実施しました。(28,980千円) また、PRチラシ(2,2万枚)を作成、配布し、利用促進を図り、運営スタッフ向けの研修を2回実施しました。			
活動計画	区役所等7か所・児童館10か所での親子ふれあいルームの運営を実施します。親子ふれあいルームの利用促進を図るため、情報発信(PRチラシ作成、配布等)を実施します。親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、運営スタッフへの研修を行います。					
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	親子ふれあいルーム利用者数(保護者)	28,017 人	単年度の目標設定はありません	26,571 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	親子ふれあいルームを利用することで、子育ての不安や悩みを軽減できると考えられるため、利用者数を活動指標とします。 (最終目標と最終年度)					順調
	(最終目標と最終年度)				やや遅れ	順調
(最終目標と最終年度)				遅れ		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成25年度から市民センター等と連携し地域における子育て支援を行うため、新たに「地域の子育て力を高める取り組み」を進めたため、順調としました。なお、活動の状況は、利用者数(保護者)が前年度を下回りましたが、減少理由は、一箇所の親子ふれあいルームが移転し、その利用者数が減少したことが要因と考えられます。 親子ふれあいルームの整備については、これまでに区役所等に7か所、児童館に10か所に整備し、「元気発進！子どもプラン」の計画を達成しています。
	「経済性」「効率性」 の分析 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	親子ふれあいルームの整備は、既存の公共施設を活用しています。運営については、公募により選考を行い、子育て支援活動の実績のある団体へ委託し、民間活用を行っています。 今後は親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、運営スタッフへの研修を引き続き実施し、事業内容についての検討を行います。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

平成22年度で施設整備は完了したことから、今後は運営を継続し、親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、各区の運営スタッフへの研修や情報発信(PRチラシ等)を引き続き実施していきたいと考えています。
また、親子ふれあいルームの4つの基本事業(①親子の交流の場の提供と交流の促進②子育てに関する相談・援助③地域の子育て関連情報の提供④子育て支援に関する講習の開催)に加えて、平成25年度から取り組み始めた「地域の子育て力を高める取り組み」についてもより進捗するよう、実施内容を引き続き検討していきたいと考えています。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	「わらべの日」(子育て支援の日)事業						掲載ページ
							80
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		406,533 千円 <small>「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業」の総額。本事業はその一部。</small>	421,276 千円 <small>「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業」の総額。本事業はその一部。</small>	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか 中学生以下の子どもを連れた家族や団体等が、協力施設・店舗を利用すると、割引やサービスを受けることができる「わらべの日」(毎月第二日曜日)を設け、子どもと親がふれあう機会を拡大し、家庭・企業・地域全体が協働で子育てを支援する意識を広く浸透させます。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	指定管理者による利用者への広報活動や協力施設、店舗、企業への啓発活動を行います。	

活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	活動指標	協力店舗・施設数 「協力店舗・施設数」の増加が、子どもと親がふれあう機会の増加及び子育てを支援する意識の浸透の一助となることから、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) 500店舗・施設数(26年度)	309 店舗・施設	-	302 店舗・施設	大変順調
「わらべの日」リーフレットの発行 「わらべの日」リーフレットを発行することが、幅広く市民に「わらべの日」事業を周知することにつながるため、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)		発行	-	発行	順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	店舗等の事情により、協力施設数の増減はありますが、より多くの「わらべの日」協力店舗・施設が存在することにより、地域における子育て支援の輪が広がるとともに、親子がふれあう機会の増加にも繋がります。指定管理者による協力施設、店舗、企業への啓発活動を行うとともに、利用者への広報活動を積極的に行い、より多くの方に本事業を活用いただくことで、子育ての悩みや不安の解消の一助となり、有効であると考えます。
	「経済性」「効率性」の分析 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	「指定管理者制度」を導入し、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後とも積極的な取り組みやPR活動等に努め、地域社会全体で子育てを支援する意識を広く浸透させます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	地域でつくる子育て応援事業							掲載ページ	
								80	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		266	千円	667	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	区の推進協議会やまちづくり協議会等と連携し、子育てに関するボランティア活動や地域特性を活かした子育て支援活動等を支援します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	区の特性に応じた子育て支援活動を実施します。								
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】		
	区や校区単位で開催される子育て支援のための活動件数		142 回	適切な実施	130 回		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	地域の特性に応じた子育て支援活動を実施するため必要であると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）								
							順調		
（最終目標と最終年度）									

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	出生数が年々減少していることや、子育て教室等同様の活動が開催されており、内容や開催回数を見直した区もあり、開催回数が減少しましたが、各区の状況に応じて、子育て支援に関する会議や勉強会等を実施しており、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	区や地域の特性を活かした活動が展開されています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

地域における子育て支援活動や支援者が多方面に広がっていることから、今後も関係機関と連携し、子育て支援の活動を検討していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	育児サークル・フリースペース活動への支援						掲載ページ		
							81		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		4,888	千円	5,275	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 未就学児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援します。 また、子ども連れでも自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援します。	活動実績	「活動結果は下記のとおりです。」			
活動計画	育児サークルや子育て支援者グループなどの「子育てに関わる団体」に対する活動支援として、100団体へ活動経費を補助します。 また、身近な地域での交流の場（フリースペース）や育児サークルについて調査を行い、その情報を発信し、利用の促進を図ります。					
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	子育てに関わる団体等への補助件数	100 件	100 件	100 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	育児サークルや子育て支援者グループなどの「子育てに関わる団体」へ補助を行い、活動支援することにより、育児サークルの自主的活動や地域で行われる子育て支援活動を促し、子育ての不安や悩みを軽減する環境づくりを推進するため、補助件数を活動指標とします。 （最終目標と最終年度）			100.0 %		
	（最終目標と最終年度）				順調	大変順調
（最終目標と最終年度）				やや遅れ		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	活動の状況は、100団体に補助金を交付し、育児サークルの自主的活動や地域で行われる子育て支援活動を促進できたことから、大変順調としました。 平成25年度も、引き続き育児サークルだけではなく子育て支援者グループについても支援対象としたところ、申請団体数が108団体と前年度よりも増えていることから、本事業が「子育てに関わる団体」のニーズに沿ったものであると考えられます。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	「子育てに関わる団体」の自主的活動をさらに活発化させるため、補助件数の増加など、支援内容について継続して検討していく必要があります。 なお、本事業は補助金の交付等により「子育てに関わる団体」の活動を支援することから、実施主体としては市が適切であると考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

育児サークルや子育て支援者グループなどの「子育てに関わる団体」の活動経費への補助件数を増やします。
 また、身近な地域での交流の場（フリースペース）や育児サークルについて調査を行い、その情報を発信し、利用の促進を図ります。
 さらに、地域づくりや子育て支援に関して豊富な経験・実績を有する地域支援アドバイザーを各地域に派遣し、「育児サークル」や子育て支援者グループ等の活動がより活発化するよう団体間のつなぎ役を担い、「子育てネットワーク」の構築を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	日本語と子育て教室						掲載ページ		
							81		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	総務企画局
		2,706	千円	3,109	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	国際政策課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	本市の外国人市民の構成において、いわゆるニューカマーと呼ばれる、1990年代以降来日した方の割合が増えています。その中には、日本語や日本の生活習慣の知識が十分でない方も多く含まれているため、そのような外国人市民に対して、多言語による生活情報の提供や日本語教室の充実を図るとともに、相談体制の強化を図ります。					
活動計画	「日本語と子育て教室」といった生活支援事業については、今後も継続して事業を実施することとしています。						
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	日本語と子育て教室の参加者数	749 人	800 人	900 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	言葉の問題と子育てで孤立しがちな外国人市民に対する生活支援として、託児付きで「日本語」と「子育て」の両方が学べる講座を開催しています。年度当初における受講者の約7割が1年間継続して受講することを目標に指標を設定しています。 （最終目標と最終年度） 平成23年度で市の主催事業終了			112.5 %			
	日本語と子育て教室の開催数	80 回	88 回	88 回	順調	順調	
	言葉の問題と子育てで孤立しがちな外国人市民に対する生活支援として、託児付きで「日本語」と「子育て」の両方が学べる講座を小倉北区及び八幡西区で、それぞれ週1回開催しています。 （最終目標と最終年度）			100.0 %	遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「日本語と子育て」については、平成24年度より引き続き、小倉北区及び八幡西区において子育て世代を対象にした日本語教室（ママとパパのためのにほんご教室）を実施し、日常生活に必要な漢字や文法などの勉強を行い、参加者数も増加したことから順調としました。市内では唯一の託児サービス付（有料）の日本語教室であるため、子育て中のお母さんが参加しやすいことが参加者増の要因であると思われます。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	外国人市民向けの日本語と子育て教室に関する事業は、（公財）北九州国際交流協会の補助事業として実施しています。同団体が持つ多文化共生関係のノウハウや関係団体との強いネットワークを活かした事業が実施できること及び専門性を有する経験豊富な日本語教師により運営されることから、効率的に事業が実施されています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
現在の市内2カ所での日本語と子育て教室を継続して実施する中で、更なる広報による参加者の増加を図り、日本語や生活に必要な情報提供だけではなく、外国人市民同士の情報交換やお互いの相談ができる、「保護者同士のつながりの場」として活用していきます。ただし、補助金事業のため、北九州国際交流協会の補助金予算が減額されれば従事するスタッフを雇用できず、生活支援事業廃止の可能性もあります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保健・医療・福祉・地域連携システム推進事業						掲載ページ		
							81		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		9,009	千円	9,158	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	いのちをつなぐネットワーク推進課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	地域住民、地域団体、保健・医療・福祉関係者、行政機関等で構成される区保健・医療・福祉・地域連携推進協議会（以下、推進協）は、子どもから高齢者までの誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる街づくりを進めることを目的とし、地域が連携しお互いに支えあうネットワークづくりに取り組んでいます。その活動に対し補助金を交付することにより、地域連携の推進を目指します。					
活動計画	推進協において、関係者・地域による専門部会を開催するほか、地域ケア研究会、各種ネットワーク会議を開催して、地域ニーズの把握を行います。健康まつり、ウォーキング等のイベントを通じた啓発活動や広報誌、ホームページなどによる広報活動を行い、関連情報の発信に努めます。以上の推進協の活動に対し、補助金の交付による支援を行います。						
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	推進協における子育て支援などの専門部会や研究会の開催	-	地域・関係団体との会議開催	-	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	地域の多様なニーズを把握し、地域の課題に対し、きめ細かく対応するために、高齢者支援・子育て支援・健康生きがいづくり等の各専門分野ごとに、情報共有や課題解決のための会議・研究会を、各区で行っています。 （最終目標と最終年度）						
	推進協議会における地域福祉に関する広報・啓発活動の展開	-	効果的な広報・啓発活動の展開	-	順調 やや遅れ 遅れ	順調	
	地域福祉に関する活動を地域に知ってもらい、地域福祉のネットワークづくりを推進するための一環として、健康まつりやウォーキング等の広報・啓発活動を各区で行っています。 （最終目標と最終年度）						

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析 「経済性」「効率性」 の分析	地域福祉のネットワークづくりや地域連携の推進のため、推進協では、高齢者支援、子育て支援、健康づくり、安全安心等の専門部会において、地域の課題やニーズ等の会議・研究会を行い、民生委員等の地域関係者や、ケアマネージャー等の専門職員との意見交換がなされています。 また、他専門部会や総会にて報告され、情報共有もなされています。 子育て支援の専門部会においては、各区の実情に合わせた講演会の開催や情報誌等の発行を行うだけでなく、これらの準備等を通じて関係者間の交流を深め、地域福祉のネットワークづくりにも寄与しているものと考えます。 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 平成23年度から区の事務局を保健福祉課へ変更したことにより、福祉分野等の専門性のあるニーズに対応できるようになったと考えています。 しかし、区によって活動に差が見られるため、新しいニーズなどに対応できるよう、事例検討等の実態に合わせた取り組みを強化することで、より効率的で高い効果が得られるのではないかと考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
今後、推進協を「保健・医療・福祉分野のネットワーク組織」として明確に位置づけ、より積極的な活動を行っていくためには、実態に合わせた取り組みが必要となります。 このために、関係課とも協力して、各区推進協と意見交換等しながら取り組み内容について検討していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	学校支援地域本部事業						掲載ページ		
							81		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	教育委員会
		12,030	千円	23,600	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	生涯学習課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	教員が子どもと向き合う時間の拡充と地域の教育力の向上を図るため、学校単位に「学校支援地域本部」を設置し、地域の協力のもと学校の教育活動を支援する体制づくりを推進します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	本事業は、文科省の補助事業(1/3補助)を活用しながら市が直接実施しており、今後も事業実施校における教育活動への支援を充実させるとともに、実施校数拡大に向けての検討を行います。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	「学校支援地域本部事業」実施校数		14 校	18 校	18 校 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	「学校支援地域本部」を設置している学校において、地域全体で学校を支援する体制づくりを推進するため、実施校数を指標に設定しました。 (最終目標と最終年度)28年度に設定。						
	学習支援型アフタースクール事業実施校数		7 校	10 校	10 校 100.0 %	順調 やや遅れ 遅れ	大変順調
「学校支援地域本部」を設置し、地域等の協力を得ながら学校を支援する体制づくりを推進するため、実施校数を指標に設定しました。 (最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	当初計画どおり、「学校支援地域本部事業」は18校で、「学習支援型アフタースクール事業」は10校で実施しました。実施校からは、「学校・地域・保護者間の信頼関係が構築された」「子どもたちと接する時間が増加した」「子どもの学習習慣の定着に繋がった」等の効果が認められました。以上のことから、「大変順調」と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国の補助事業を活用したことにより、経済的に事業を実施することができました。また、スクールヘルパー制度に準じたボランティアによる支援活動のため、活動経費がある程度抑えられたこと、地域や大学生などの支援を幅広く有効に活用できたことなどから、低コストで効率的に事業を実施できたと考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
平成26年度は学習支援型アフタースクール事業を廃止し、学校支援地域本部事業として新たに14校を加え、計42校で事業を実施するとともに各実施校の成果を市内の学校や地域等に広報していきます。このため、事業費を拡充して取組めます。平成26年度以降も引き続き、各実施校の実情に応じた取組を行いながら、事業に取組みやすい環境づくりに努めることで、教育的効果の充実に努めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	子育てネットワークの充実						掲載ページ		
							81		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	教育委員会
		878	千円	850	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	生涯学習課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保護者が子育てに対する戸惑いや不安を解決し、子育ての負担を少しでも軽くできるよう、地域の大人を一定の研修の後に子育てサポーターとして登録し、地域による子育てを支援するものです。		活動実績	子育てサポーターを新たに94名養成したほか、今後の活動の充実のため、子育てサポーターフォローアップ研修やのびのび交流会を行いました。		
活動計画	今年度も子育てサポーター養成講座、子育てサポーターフォローアップ研修を実施します。また、子育てサポーターの増加に伴い、子育てサポーターリーダー養成研修を実施します。なお、今年度の子育てサポーター交流会「のびのび交流会」は、全ての子育てサポーターを対象に講演会形式で実施します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	子育てサポーター登録者数		1,178 人	1,000 人	1,272 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	子育てサポーター養成講座を受講してもらい、登録者の増加を目指しています。このため、子育てサポーター登録者数を指標に設定しました。全市民センター(129館)に各8名程度の配置を目指します。(最終目標と最終年度)子育てサポーター登録者数1,000人、平成26年度						
						やや遅れ	大変順調
					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成25年度は、子育てサポーターの登録者が前年度に比べて94人増加し、登録者数は目標を上回っています。また、子育てサポーター同士をつないだり関係機関との連携を図る子育てサポーターリーダーを新たに養成し、子育てサポーターリーダーは計143人となりました。「のびのび交流会」では、全ての子育てサポーター及び子育て支援に関わる方を対象に、シンポジウムを開き、今後の活動の充実につなげました。以上のことから、「大変順調」と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	子育てを経験された方など、豊富な経験を持つ方を子育てサポーターとして登録し、市民センター事業と連携し、ボランティアにて活動を行っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
市民センターにおいて子育てサポーターが活躍できる講座を開講する等、今後、子ども家庭局と協議し、同サポーターの活用策について具体化を目指していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	「子どもの館」・「子育てふれあい交流プラザ」の運営						掲載ページ		
							82		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		406,533	千円	421,276	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	子どもの豊かな感性や創造力を育み、子育て中の保護者が持つ負担や不安感を解消するための総合的な子育て支援拠点施設として、「子どもの館」、「子育てふれあい交流プラザ」の運営を行います。（両施設ともに、「指定管理者」が運営）					
活動計画	子どもの豊かな感性や創造力を育み、子育て中の保護者が持つ負担や不安感を解消するための、総合的な子育て支援拠点施設として、利用者の満足度の高い魅力的な施設の運営を行います。また、多くの子育て家庭が、「子どもの館」での子育て支援事業を受講しやすいよう、また子育て家庭が活動しやすい環境を整備するため、「子どもの館」においても「子ども一時預かり室」を運営します。						
活動実績	活動結果は下記のとおりです。						
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】	
活動指標	「子どもの館」年間入場者数 「年間入場者数」の増加が、利用者の満足度の高い魅力的施設であることから、活動指標として掲げました。 <small>（最終目標と最終年度） 440,000人（平成25年度）</small>	702,826 人	-	789,184 人	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調	
	「子育てふれあい交流プラザ」年間入場者数 「年間入場者数」の増加が、利用者の満足度の高い魅力的施設であることから、活動指標として掲げました。 <small>（最終目標と最終年度） 416,000人（平成25年度）</small>	432,109 人	-	457,513 人			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	多くの子育て世代の市民の方々にご来場いただき、大変好評いただいています。また、「子どもの館」に「子ども一時預かり室」を運営を開始しました。 両施設は、子どもの豊かな感性や創造力を育むとともに、子育て中の保護者が持つ負担や不安感の解消に向け、「子育て支援拠点施設」として、大きな役割を果たしています。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	「指定管理者制度」を導入し、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
今後とも目的達成に向け、積極的な取り組みやPR活動等を通し、魅力的な施設づくりを行い、利用者の満足度の高い施設を目指します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	親子通園クラスの設置						掲載ページ		
							82		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,431	千円	2,901	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	直営保育所で「親子通園クラス」を運営し、発達の気になる子どもを保護者とともに受け入れ、保育所での遊びや体験、相談を通じて継続した支援を行います。また、直営保育所と保健、医療、福祉の関係機関が連携しながら、児童の保育所、幼稚園などへの移行を支援します。					
活動計画	八幡西区黒崎保育所、小倉北区東篠崎保育所において、親子通園クラスを運営し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、遊びや相談を通じて、保育所や幼稚園、療育機関等への移行支援を行います。					活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動指標	指標 <small>(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)</small>	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	親子通園クラスの利用者数	269 組	200 組	217 組	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示すには、親子通園クラスの利用者数が適当と考えられるため、指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)7ヶ所、平成26年度			108.5 %			
	(最終目標と最終年度)				順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	小倉北区東篠崎保育所と八幡西区黒崎保育所の親子通園クラスで、遊びの提供や保護者との懇談を行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対し、継続した支援を行いました。黒崎保育所は延べ127組、東篠崎保育所は延べ90組の親子が利用しました。通園利用世帯に対して実施したアンケートで、利用者の満足度は100%でした。また、次年度の移行先が決定した世帯も62%を超え、移行支援としての成果も出ていることから順調としました。なお、本事業は全国的に先駆けた事業です。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所の経費資源を活用することでコストを抑えるとともに、利用料として1世帯あたり月に4,000円を徴収しています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

<p>実施している2ヶ所について検証していきながら、関係機関との連携、PRを行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対して、継続した支援を行います。</p>
--

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	地域子育て支援センター事業						掲載ページ		
							82		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		65,310	千円	47,000	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか 保育所等を拠点とした地域子育て支援センターを設置し、育児相談や情報提供、親同士の交流などの場を設け、地域の子育て家庭の支援等を行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。				
活動計画	育児相談や情報提供、親同士の交流など、保育所等の特性を活かした子育て支援の場を設け、地域の子育て家庭の支援を行います。									
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)			前年度実績	目標	実績 (達成率)		→	【活動の状況】	
	地域子育て支援センター事業を実施している保育所の施設数			8 施設	8 施設	8 施設		大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	育児相談や情報提供、親同士の交流などの場や、地域の子育て家庭の支援等に対する需要があると考えられるため、活動指標としました。 (最終目標と最終年度) 8施設(現状維持)、平成26年度					100.0 %				
								順調	順調	
(最終目標と最終年度)							やや遅れ			
							遅れ			

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	地域の子育て中核施設として育児講座や育児相談等の事業を行っており、子育て家庭の支援に効果があったと考えられることから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	限られた補助金額の中で、配置保育士2名分の給与を支出すると同時に、各保育所でパンフレットや手引き等を作成するほか、離乳食講座、手作り教室など各種交流行事を開催しており、効率性は高いと言えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

子育て世代のニーズに対応するため、育児相談や情報提供、親同士の交流の場を設け、地域の子育て家庭の支援を行います。あわせて、利用対象者、相談内容、施設の機能の重複が見られる、親子ふれあいルームとの機能の統合・整理を図ります。
(平成26年4月: 8施設→6施設)

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	子育て支援員の養成・配置(保育所)						掲載ページ		
							82		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		682	千円	603	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	北九州市社会福祉研修所の研修の充実を図り、保育所の保育士を子育てに関する相談や育児サークルの支援等に対応できる「子育て支援員」として養成します。「子育て支援員」は、各区役所や市民センター等と連携しながら、地域に根差す保育所の子育て家庭支援の中心的な役割を担います。					
活動計画	年間40名を受講対象とし、4年を1クールと設定し、全保育所(160施設)の保育士が参加するように計画しています。						
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	子育て支援員養成人数		46 名	40 名	40 名	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	専門性を活かし、きめ細やかな子育て相談等に対応できるよう、子育て支援員としての養成した人数を活動指標としてあげました。 (最終目標と最終年度)				100.0 %		
	子育て支援員の配置保育所数		158 施設 (100%)	160 施設	160 施設	順調	順調
	保育所の保育士を子育てに関する相談や育児サークルの支援等に対応できる「子育て支援員」として養成し、保育所に配置し、育児に悩む保護者を支援できるよう、活動指標としてあげました。 (最終目標と最終年度)すべての保育所(現状維持)、平成26年度				100.0 %	遅れ	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	子育て支援指導者の育成を計画的に行い、「子育て支援員養成講座」を6日間実施しました。子育て支援の推進及び保育の質の向上を図ることが出来たことから、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	北九州市福祉事業団に委託している社会福祉研修所が主催した研修を受講しているため、これ以上コストを下げることは出来ません。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
今後も、スーパーバイザーの役割を担う子育て支援員の養成のため、研修を継続実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保育所における地域活動事業							掲載ページ	
								83	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		33,168	千円	29,525	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保育所における世代間交流事業や、異年齢児交流事業などの幅広い活動を通して、子どもたちの社会性を培います。また、保育所が持つ専門的知識やノウハウを生かし、子育て相談や育児講座の開催および子育て情報の提供を行うなど、地域の子育ての核として、子育て家庭への支援を行います。					
活動計画	地域の高齢者との交流や小学校低学年児童の受け入れ、育児講座など、その地域の特性や各施設の状況に応じた地域活動事業を行います。						
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	地域活動事業実施の保育所数	149 所	160 所	151 所	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	すべての保育所において、世代間交流事業、異年齢児交流事業、育児講座・育児と仕事両立支援事業などの地域活動事業を実施します。地域活動事業を実施した保育所箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）			94.4 %			
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	各保育所において、世代間交流事業（地域の年長者との昔遊びや縁日ごっこ、もちつきなど）、異年齢児交流事業（校区小学校との連携を推進）を実施しました。また、保護者対象の子育て相談や育児講座をはじめ、在宅親子への支援として、各保育所での子育て広場の開催や、電話相談対応など、その地域の特性や各施設の状況に応じた地域活動を実施しました。未就園児親子が、身近な保育所にて、子育てのアドバイスを受けたり、同年齢の保育園児と交流を持つことで、育児の悩みや不安の緩和に貢献しました。以上の内容より、活動の状況については順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	現在の保育所の機能を活用した発展的な事業であるため、「経済性」「効率性」に優れた取り組みを行うことができたと考えています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
子どもたちの社会性を培うため、保育所において世代間交流事業や異年齢児交流事業など、幅広い活動を実施します。また、保育所が持つ専門的知識やノウハウを生かして、子育て相談や育児講座、情報の提供を行います。未実施保育所に対しては、事業趣旨を伝えるほか保育所の取り組み事例を紹介することで、積極的な事業参加を促します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	施設・園庭の地域への開放						掲載ページ		
							83		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
	0	千円	0	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	保育課	

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか 地域住民の理解を深め、開かれた保育所づくりを推進するため、未就園児と保護者に施設や園庭の開放を促進するとともに、行事へ地域住民の参加を促すなど、安全管理の下で開放的な雰囲気づくりに取り組みます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動計画	未就園児とその保護者に保育所の施設や園庭を開放します。					
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	施設園庭の地域への開放実施施設数					
	施設園庭の地域への開放実施施設数が適当と考えられるため、活動指標にあげました。 (最終目標と最終年度)	158 施設 (100%)	160 施設	160 施設 100.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 順調
	(最終目標と最終年度)					

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析 【経済性】 【効率性】 の分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	地域活動等を通して、地域の年長者や在宅親子との交流を行いました。不審者対策を十分に考慮の上、開かれた保育所づくりを推進することができたので、順調としました。地域住民や在宅の未就園児親子を行事等や育児講座などに招待することで、保育所への理解が深めることができました。また、専門性を活かした子育て支援は子育てに悩む保護者の方に喜ばれており、有効です。 保育所の機能を生かして、地域の保育所への理解を得ることができ、開かれた保育所づくりをするので、新たなコストはかかりません。
-----------	--	--	--

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後とも保育所の機能を生かして、地域の子育て支援を充実させ、安全管理の下、開かれた保育所づくりを進めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	幼稚園における子育て支援機能の充実						掲載ページ		
							83		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		77,761	千円	78,181	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	本市では、幼稚園児の約98%が私立幼稚園に通っており、子育て支援の拠点として私立幼稚園の果たす役割はますます重要になっています。そのため、私立幼稚園における子育て支援機能の充実を図ります。					
活動計画	子育て支援保育補助員の補助対象を拡大し活用しやすくする等、より一層の幼稚園における子育て支援機能の充実の為に支援を行います。						
活動指標	指標 <small>(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)</small>	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	子育て支援保育補助員助成の活用園	93 園	96 園	95 園	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	子育て支援保育補助員を活用する幼稚園が増えることで、幼稚園の子育て支援機能の充実につながるため、指標としました。 <small>(最終目標と最終年度) 平成26年度 96園(毎年度96園)</small>			99.0 %			
	園庭等の地域開放事業の実施園	52 園	80 園	54 園	順調	順調	
	園庭等を地域に開放することにより、地域での子育て支援を推進する必要があるため、概ね8割程度の実施を目指します。 <small>(最終目標と最終年度) 平成26年度 96園(毎年度96園)</small>			67.5 %	やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	子育て支援保育補助員補助制度は、ほぼすべての私立幼稚園で活用されており、幼稚園における子育て支援機能の充実にも寄与していることから、順調としました。また、平成25年度は、子育て支援機能の更なる充実を図るため、子育て支援保育補助員の雇用日数を拡大して補助を実施したことで、幼稚園からも好評を得ています。また、園庭開放の実施園が増え、地域の子育て支援機能が充実されたことから順調としました。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	子育て支援保育補助員補助制度は、地域の人材を活用するなど雇用の促進にも寄与しており、事業の実施に当たっては、経済的、効率的な運営に努めているところです。なお、地域の人材を活用することは、地域全体としての子育て支援の強化につながることから、事業の効果としても高いものと考えています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
<p>今後も、私立幼稚園の子育て支援に果たす役割はますます重要になっていくと考えており、私立幼稚園への助成制度の充実を図るとともに、私立幼稚園関係者との意見交換等を行い、より一層活用しやすい制度となるよう努めます。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	一時預かりサービス情報の提供						掲載ページ
							83
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		406,533 <small>千円</small> <small>「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業」の総額。本事業はその一部</small>	421,276 <small>千円</small> <small>「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業」の総額。本事業はその一部</small>	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 安心して子どもを生み育てることができるように、民間事業者が提供する子どもの一時預かりサービスに関する情報を、幅広く収集し、ホームページ「子育てマップ北九州」に専用のページを設け、情報提供を行い、地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動計画	民間事業者が提供する一時預かりサービスに関する情報の収集及びホームページ「子育てマップ北九州」に専用のページを設け、情報提供を行います。					
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） <small>（上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	「子育てマップ北九州」内専用ページのアクセス件数	2,517 件	増加	4,060 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	より多くの市民に、必要とされる子育てに関する情報が届いているかを図る活動指標として設定します。 <small>（最終目標と最終年度）</small>					
					順調	順調
<small>（最終目標と最終年度）</small>				やや遅れ		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	民間事業者が提供する一時預かりサービスに関する情報を収集し、ホームページ「子育てマップ北九州」で情報提供を行いました。「子育ての悩みや不安の解消」に向けて、必要とされる情報を保護者にタイムリーに提供することにより地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めたことから順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	ホームページ「子育てマップ北九州」の管理運営は、「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ」運営に関する指定管理業務の一部として実施しており、経済的・効率的な情報提供に努めています。なお、情報提供については、市が実施主体となっておりまとめを行い、ホームページ「子育てマップ北九州」において行う必要があると考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

26年度においても引き続き、一時預かりサービスを提供する民間事業者の情報を収集し、ホームページ「子育てマップ北九州」で情報提供を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	ほっと子育てふれあい事業の充実							掲載ページ	
								84	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		14,712	千円	15,204	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	ほっと子育てふれあいセンターにおいて、地域で子育ての援助を行いたい者と子育ての援助を受けたい者を組織化し、相互に援助できるよう支援することにより、安心して子育てと仕事を両立できるような環境づくりに資するとともに地域の子育て支援を行い、労働者の福祉の増進及び児童の福祉の向上を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	定期的な会員募集を行い、会員獲得に努めています。また、提供会員の基本研修、ステップアップ研修や会員相互の交流会活動を通じて、会員の資質向上を図っています。							
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） <small>（上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>		前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】	
	提供（両方）会員の確保		2,556 人	-	2,745 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	<small>（最終目標と最終年度）</small> 援助活動の需要に対応するためには、提供会員の確保が必要なことから、活動指標に設定しました。							
	研修会の実施		18 回	18 回	18 回	順調	やや遅れ	
<small>（最終目標と最終年度）</small> 安全で質の高いサービスの提供のためには、会員に対し、子どもの心身の健康や事故の対応などの研修を行う必要があるため、活動指標に設定しました。								
					100.0 %	遅れ	順調	

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	提供会員も増加し、事故も発生していないことから、安全で質の高いサービスを提供できていると考えます。また、提供（両方）会員数も増加していることから、順調としました。仕事の都合で保育所等への送迎ができない方や、急な用事のために子どもを預ける必要がある方等を援助し、労働者の福祉の増進及び児童の福祉の向上に寄与することにより、十分な効果が得られていると考えます。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	会員の質の向上のため、子どもの心身の健康や事故の対応などの研修を行っています。研修内容や会員同士の交流会の充実を図ることにより、安全で質の高いサービスの提供に努めることとしており、効率性は高いと考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
引き続き、子どものしつけや遊びについての講習、活動中の事故0を目指した事例研修を行うなど研修内容の充実を図ることにより、安全で質の高いサービスの提供に努めることとしています。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	一時保育事業						掲載ページ		
							84		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		46,862	千円	54,679	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保護者のパート就労や冠婚葬祭、及び育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育します。今後は、実施施設数を増やします。			
活動計画	引き続き一時保育実施施設を増やし、子育て家庭等の支援を行います。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→ 【活動の状況】
	一時保育事業を実施する保育所	63 施設	67 施設	67 施設	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	実施保育所数を増やすことで、保護者の就労等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育することができるかと考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度) 64施設、平成26年度			100.0 %	
	(最終目標と最終年度)			順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成25年度は4施設で新規開設を行い、全67施設において年間延べ23,908人の児童が利用したことから順調としました。一時的な就労等多様化する就労形態への対応や、専業主婦等の育児リフレッシュへの対応等について有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	補助金は利用児童数に応じた額となっており、限られた補助の中で人員を配置し実施するなど、合理的に事業を行っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

一時保育を幅広く展開していくことで、待機児童の解消や子育て支援家庭への支援にも繋がることから、今後も一時保育の実施施設の増加を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	ショートステイ・トワイライトステイ事業						掲載ページ
							84
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		4,449 千円	8,681 千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	児童養護施設等において保護者等の就労や疾病、冠婚葬祭などによる緊急・一時預かりや保護者のリフレッシュなど、幅広いニーズに対応します。また、「ほっと子育てふれあい事業」など他の関連サービスとの十分な連携を図り、利用しやすい環境づくりに努めます。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	利用の必要がある市民のニーズに応えるよう努めました。					
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】
	利用延べ児童数	91 人	-	111 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	利用の必要がある市民ニーズに十分応えられるよう、指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）利用しやすい環境づくり					
					順調	順調
				やや遅れ		
				遅れ		

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		保護者の疾病や出張等により児童の養育が困難となるときに当サービスがあることは、ひとり親家庭等さまざまな家庭での仕事と子育ての両立を可能にするため、有効です。
		既存の児童養護施設・乳児院の定員の空きを活用しており、施設面でも人員面でも効率的に運用していると考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
事業を周知し、必要に応じて利用を促します。また、「ほっと子育て」など他の関連サービスとの十分な連携を図り、利用しやすい環境づくりに努めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	放課後児童ヘルパーの設置							掲載ページ	
								84	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくため、地域と連携を図り、地域の人材を「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支援していきます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	夏の教室（地域版）の実施に併せ、各クラブでの放課後児童ヘルパーの活用を促進していきます。			

	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
活動指標	放課後児童ヘルパーを活用しているクラブの割合	18.7 %	単年度の目標設定はありません	35.5 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	放課後児童ヘルパーを活用することで、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営につながることから、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)50%(26年度)					
	(最終目標と最終年度)					
					順調	順調
					やや遅れ	
					遅れ	

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	地域の人材を放課後児童ヘルパーとして活用することで、昔遊びなどの体験活動に取り組むことができるなど、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営につながっています。そのため、活動の状況は順調としました。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	地域の身近なところで、クラブの活動を支援してくれる人材を確保することができるので、経済性・効率性が高い取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

取り組みにあたっては、夏の教室（地域版）の実施に併せ、放課後児童ヘルパー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進めていきます。必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	社会福祉ボランティア大学校運営委託						掲載ページ		
							84		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		32,245	千円	31,775	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	いのちをつなぐネットワーク推進課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	地域住民の福祉に対する知識の向上や、住民参加で福祉サービスの利用者を支える仕組みづくりのため、地域福祉を担う人材の育成・強化を図るための各種研修事業を実施しています。事業の実施にあたっては、北九州市が北九州市社会福祉協議会へ委託し、社会福祉ボランティア大学校において、ボランティア・市民活動センターとの連携を図りながら実施していきます。					
活動計画	研修事業ごとの開催回数及び日数については研修事業計画のとおり行います。その他、研修の実施内容については、その都度、社会福祉ボランティア大学校と協議して行います。						
活動実績	活動結果は下記のとおりです。						
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
活動指標	ボランティア大学校の研修の受講者数	2,955 人	2,400 人	3,404 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	市内のボランティアの育成に関して、一定程度の研修機会を提供できたかを計るため、受講者数を指標とします。 <small>（最終目標と最終年度）</small>			141.8 %			
活動指標	関係団体との連携	-	関係団体との連携	-	順調	順調	
	研修については、地域や団体に広くPRするとともに、受講者がその後地域で活動できるよう、市及び区のボランティア・市民活動センターと連携します。 <small>（最終目標と最終年度）</small>			やや遅れ			
					遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	地域等での福祉活動を担う人材育成のため、①市民講演会、②市民講座、③スキルアップ研修、④地域活動者研修、⑤地域活動者支援研修、⑥福祉有償運送運転協力者研修、その他研修を実施しました。また、傾聴ボランティア養成講座受講者で構成されたグループが施設でのボランティア活動に取り組むなど、その研修成果が地域での福祉活動につながっている例もあります。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	ボランティアに関する研修は、市の他の部署でも行われている例があり、同様の趣旨の研修について情報収集等を行うことで、より効率性が図られるものと考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
地域福祉を担う人材の育成は、本市の福祉施策を推進する上で重要なものと考えており、より多くの方に受講していただけるよう内容等について今後も検討する必要があるものと考えています。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	シルバー人材センターによる「高年齢者活用子育て支援事業」						掲載ページ		
							85		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	産業経済局
		0	千円	0	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	雇用政策課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	「子どもの成長と子育てを地域で支え合うまちづくり」に沿って、子育て経験の豊富なシルバー人材センターの会員が保育園への送迎、子守、託児等のサービスを行い、子育て家庭を支援します。		活動実績	下記のとおりです。			
活動計画	子守、保育園への送迎、保育補助、産前産後の手伝い、託児等「子育て支援サービス」を業務の一環として実施しているシルバー人材センターを支援します。							
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	子育て支援事業にかかる受注件数		382 件	450 件	383 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	子育て支援事業にかかる受注件数が、子育てに関する支援の活動指標として適当であると考えます。							
	（最終目標と最終年度）平成26年度において450件受注				85.1 %	順調	順調	
（最終目標と最終年度）				遅れ	遅れ			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	予定通り実施していますが、件数が伸び悩んでいます。女性会員の高齢化により、需要に応じきれないことも一因となっているものと思われます。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	若い世代の子育ての悩みや負担軽減に、効果があると思われます。高齢者の就業機会を増やすと同時に子育て支援に資するものであり、効率性の高い事業となっています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
引き続き子育て支援事業が実施されるよう、シルバー人材センターを支援します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	スクールヘルパー						掲載ページ		
							85		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	教育委員会
		69,305	千円	80,952	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	指導企画課 生涯学習課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	地域の人材や教育機能を学校教育に生かし、地域と学校が連携して子どもたちの「生きる力」を育むことを目的に、地域人材等をスクールヘルパーとして学校に登録し、学校への支援活動を実施します。 教員の子どもと向き合う時間の確保と地域の教育力の向上を図るため、地域の協力のもと学校の教育活動等を支援する体制づくりを推進します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動計画	市の直接実施にて、地域で学校を支援する体制づくりを促進していきます。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	スクールヘルパー延べ活動人数		121,548 人	115,000 人	122,056 人	106.1 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	地域の人材を学校教育に生かし、地域と学校が連携して、児童生徒への学校生活の支援を行います。このため、スクールヘルパーの延べ活動人数を指標と設定しました。 （最終目標と最終年度）平成25年度 115,000人							
	スクールヘルパーの活動領域の充実		4 事業	4 事業	4 事業	100.0 %	順調 やや遅れ 遅れ	順調
安全対策・教育支援などの活動に加えて、読書活動の充実に協力いただく「ブックヘルパー」や学校支援地域本部事業の対象校を増やすなど、スクールヘルパーの活動領域の充実につながる取組を推進します。このため、指標と設定しました。 （最終目標と最終年度）								

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	これまでの安全対策・教育支援などの活動に加えて、「ブックヘルパー」や学校支援地域本部事業の対象校を増やすなど、スクールヘルパーの活動領域の拡充につながる取組を進めたことから、スクールヘルパーの延べ活動人数及び登録者数ともに目標を大きく上回り、スクールヘルパー制度を活用した学校支援が進んでいます。また、研修の機会を増やしたことで、より効果的な支援活動につなげています。 以上のことから、「順調」と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	1回の活動につき500円（活動内容によっては1,000円）という金額で、学校の教育活動を支える多くのマンパワーを得ており、経済性は高いと考えます。学校のニーズにあった制度の運用を図り、スクールヘルパーの活動がより効果的なものとなるよう事業を推進しています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
ブックヘルパーや学校支援地域本部など学校のニーズに応じた取組を充実するとともに、大学・企業等との連携強化を図っていきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	地域人材バンクの整備						掲載ページ		
							85		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	教育委員会
		1,134	千円	500	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	生涯学習課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	生涯学習についての理解やボランティアへの熱意を持ち、持っている知識や経験、技能を地域社会で積極的に役立てようとする意欲のある個人又は団体を講師又はボランティアとして登録し、ホームページにて広く市民に紹介することを通して、地域での生涯学習活動を支援します。		活動実績	活動結果は、下記のとおりです。	
活動計画	市が講師、ボランティアの新規募集を行い、人材バンクの充実を図ります。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→ 【活動の状況】
	新規登録者・団体の獲得のための広報活動		実施	—	実施	大変順調
	新規登録者・団体を獲得するため、様々な媒体を活用した広報活動を行うため、広報活動を指標として設定しました。 (最終目標と最終年度) 人材バンク登録者数延350人、平成27年度					
					順調	順調
(最終目標と最終年度)				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	また、当サイトには生涯学習関連の講師・ボランティアが269名登録され、生涯学習関連の講師・ボランティアの活用は22件有り、地域における生涯学習を推進するために、人材バンクシステムにおける講師及びボランティア情報提供する仕組みとして、有効であると考えます。さらに、より効果的な情報提供を行うため、現状の人材バンクに代わり、学習機会や講師の情報等様々な情報を一元的に提供できる北九州市の生涯学習に関する総合情報提供システム(仮称)まなびネットひまわりの構築に向けて、ホームページ・デザイン、コンテンツの構築を行いました。以上のことから、「順調」と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	(仮称)まなびネットひまわり～北九州市生涯学習情報提供システムの構築については、同様の業務を行う他部署と情報交換し、委託業務費用を抑えることができました。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
(仮称)まなびネットひまわり～北九州市生涯学習情報提供システムの運用開始にあわせて、利用者及び登録者の増加に努めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	NPOボランティア活動促進事業						掲載ページ		
							85		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		15,314	千円	12,675	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	市民活動推進課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	地域の課題に自ら対応し、市民が自発的、主体的に公益活動に参画する市民社会の形成に向けて、まちづくりの重要な担い手であるNPOやボランティア団体などの市民活動を促進します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	市民活動サポートセンターを拠点に、NPO・ボランティア団体に関する総合的な相談受付、NPO・ボランティア活動情報の提供、専門講座・講演会等の研修・啓発を実施します。					
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】
	NPO法人数（累計）			318 法人		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	それぞれの目的の達成に向けて市民活動団体を主体的に発足させた市民活動団体（NPO法人）数の増加を図ります。 <small>（最終目標と最終年度）340法人、平成26年度</small>	305 法人	330 法人	96.4 %	大変順調	
	市民活動サポートセンター利用者数（単年度）			22,935 人		順調 やや遅れ 遅れ
	今後、市民活動に携わりたい方々や、既に活動に取り組んでいる団体等からの相談や施設利用など、市民活動サポートセンターの利用者数です。 <small>（最終目標と最終年度）</small>	21,309 人	21,000 人	109 %	遅れ	

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	例年実施しているNPO入門セミナーに加えて、法人運営に関する必要な基礎知識の習得のためのNPO法人入門説明会を開催した結果、新たに13団体のNPO法人が設立され、既存法人の組織や活動の強化が図られました。 活動指標ともに概ね目標を達成できたので、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	市民活動サポートセンターは、公共施設の活用により行政窓口の一部として運営しており、職員に加えてボランティアによる専任の相談員を配置するなど、市民が利用しやすい環境づくりに努めています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

NPO法人数も着実に増加しており、ニーズに即した講座の開催や情報提供等を強化し、引き続き市民活動促進のための支援を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	市民活動保険						掲載ページ		
							85		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		5,614	千円	5,930	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	市民活動推進課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	北九州市が保険料を負担して、これらの活動中の事故に対して一定水準の補償を行い、市民が安心して地域活動やボランティア活動に取り組むことができますようにします。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	市民活動保険を実施します。						
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】
	市民活動保険実施		実施	実施	実施	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	市民が安心して地域活動やボランティア活動に取り組むことができるよう、北九州市が保険料を負担して、これらの活動中の事故に対して一定水準の補償を行います。 （最終目標と最終年度）						
						順調	順調
（最終目標と最終年度）					やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	引き続き市民活動保険を実施しました。これによって、市民が安心して子育て支援などの地域活動やボランティア活動に取り組むことができると考えます。このため活動は有効であると判断します。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	市民活動保険は、民間保険の導入により経済性・効率性を確保しています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

市民が安心して地域活動やボランティア活動へ取り組むことができるよう、引き続き市民活動保険を実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	NPO公益活動支援事業						掲載ページ		
							85		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		4,399	千円	4,439	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	市民活動推進課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	NPO法人または市民活動団体が専門性等を十分に発揮して行う、意欲的かつ先進的な取り組みを支援することにより、本市におけるNPO活動の更なる発展を図ります。					
活動計画	NPO法人又は市民活動団体が専門性等を十分に発揮して行う意欲的かつ先進的な公益活動（地域の課題解決につながる活動や公共の福祉の向上に資する活動など）に対して助成を行うとともに、これらの活動事例を幅広く情報提供することなどを通して本市におけるNPO活動の更なる発展を図ります。						
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
活動指標	補助交付事業件数（累積） 市内全域を対象とするまちづくり活動、地域課題の解決に繋がる活動、市のイメージアップに寄与する活動に対する補助交付事業の累積件数を評価の指標とします。 （最終目標と最終年度）28年度に補助事業累積件数が60件	42 件（累積）	42 件（累積）	52 件（累積） 123.8 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 順調	
	成果発表会の参加人数（累積） 活動事例を幅広く情報提供することなどを通して本市におけるNPO活動の更なる発展を図るため、成果発表会への参加人数を指標とします。 （最終目標と最終年度）28年度に参加者累積人数が330人	136 人（累積）	180 人（累積）	199 人（累積） 110.6 %			

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析 「経済性」「効率性」 の分析	<p>活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> <p>本事業は、NPOによる地域課題の解決に向けた専門的で先駆的な実践を伴うものであり、実際に市民福祉の向上に大きな成果をあげるとともに、事業の審査や成果の公開・広報を通して、市民活動の活性化に大きく寄与しています。補助の対象となった事業は、いずれも公益性が高く、NPOの専門性や先駆性が活かされた事業でした。また、市が設定したテーマに応じたNPOの専門性を活かした事業提案を、市とNPOが協働で実施し、様々な課題の解決に取組みました。</p> <p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p> <p>地域の事情に精通した団体や高い専門性を有する団体が地域課題の解決に取り組んでいるため、効果的かつ効率的な運営となっています。NPOと行政が協働して取り組む事業については、行政課題に対して、NPOの専門的・先駆的な発想を導入することで、行政が直接実施することに比べ、より効率的で効果的な成果を得ることができました。</p>

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
着実に補助事業の実施件数も増えているので、引き続き先進的な公益活動に対して助成を行い、活動事例の広報、情報提供に努めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	ボランティア活動促進事業						掲載ページ
							86
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		37,224 千円	35,289 千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	いのちをつなぐネットワーク推進課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 市ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア団体とのネットワークの構築、ボランティアに関する普及・啓発活動の実施、ボランティアの養成などを総合的に支援し、各区ボランティア・市民活動センターでは、より地域に根ざしたボランティアの情報収集や実態把握、需給調整を行っており、市からボランティア・市民活動センターを運営する北九州市社会福祉協議会に対して補助金を交付しています。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	市ボランティア・市民活動センターにおいて、下記のとおり支援等を行います。 ・ボランティア活動についての相談や援助 ・ボランティアグループの育成と活動助成 ・ボランティアの養成と研修 ・ボランティア活動の登録とコーディネート		

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	ボランティア登録団体数	ボランティアの活性化のため、指標として掲げます。活動者の支援をします。 （最終目標と最終年度）	691 団体	前年度の水準より増加	687 団体 99.4 %	大変順調
ボランティア登録人数 ボランティアの活性化のため、指標として掲げます。活動者の支援をします。 （最終目標と最終年度）		22,668 人	前年度の水準より増加	22,919 団体 101.0 %	順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 ボランティア活動の普及・啓発、ボランティア・NPO団体支援など、当初の計画に沿った事業が実施されています。また、ボランティアのコーディネートや活動の相談も受けており、ボランティアの活性化等に向けて取り組みを進めています。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 ボランティア活動そのものについては、多くの団体等が存在し、それぞれ活動されていることから、それらの事業について情報交換を行うことで、より効率性が図られるものと考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後も社会情勢の変化や福祉制度の改革に伴い、多様化するニーズに対応するため、ボランティア活動の活性化が求められており、現状のまま進めることが適当と考えます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	空き店舗賃借料補助						掲載ページ		
							86		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	産業経済局
		3,526	千円	6,730	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	商業振興課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	本事業は商店街の市場機能の維持向上や新規開業を促進するため、商店街の空き店舗への出店について賃借料の一部を補助することにより、地域商業の振興に資することを目的とします。						
活動計画	商店街の空き店舗に出店する方に賃借料の一部を補助します（開業支援事業）。また、商店街・市場の組合が空き店舗を活用する場合に賃借料の一部を補助します（コミュニティ支援事業、店舗運営事業）。						活動実績	平成25年度の実績は開業支援事業12件、コミュニティ支援事業等1件となっています。
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】	
	制度活用件数		21 件	11 件	13 件	118.2 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	空き店舗を活用して、子育て世代を含む来街者の利便向上等に向けたコミュニティ施設等の設置が考えられることから、制度活用件数を活動指標としました。なお、目標値は、商店街への事前ヒアリングをふまえて予算計上した件数です。							
	(最終目標と最終年度)						順調	順調
(最終目標と最終年度)						やや遅れ		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	目標件数よりも実績数が上回ったことに加え、空き店舗への出店者に対して、賃借料又は改装費の一部を補助することにより、商店街の活性化や新規開業者の支援に一定の成果をあげることができたことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	開業支援事業は、市が補助することで開業しやすい環境づくりを進めるとともに、補助金の審査書類である事業計画書を事業者が作成することで、開業プランを明確にさせるという効果もあります。事業者に対しては、各種アドバイスを行うほか、市の起業支援施策の紹介、中小企業支援センターや商工会議所の相談窓口や創業セミナー等を紹介するなど、きめ細かな対応により、円滑な開業につながっています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後も事業者に対して各種アドバイスを行うほか、市の起業支援施策の紹介、中小企業支援センターや商工会議所の相談窓口や創業セミナー等を紹介するなど、きめ細かな対応を行うことにより円滑な開業を支援します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	校区まちづくり支援事業						掲載ページ
							86
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		410,510 千円 <small>(※地域総括補助金決算額)</small>	395,214 千円 <small>(※地域総括補助金予算額)</small>	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	地域振興課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	まちづくり協議会が実施する地域づくりの目標・活動計画の策定や地域課題の解決を図る活動に対して補助金を交付し、地域団体の連携・協力を図り、地域が一体となった住民主体の地域づくりを促進します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	区役所コミュニティ支援課と連携して、まちづくり協議会に事業の趣旨等を説明するなど、継続して補助金導入の働きかけを行い、導入団体の増加を図ってきましたが、校区まちづくり支援事業は、地域総括補助金の一補助金であるため、平成25年度より「コミュニティ支援機能の充実(地域総括補助金)」と統合し、活動指標や評価(分析)等については、同じものを活用することとします。						
活動指標	指標 <small>(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)</small>	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	新たな地域づくりに取り組んだまちづくり協議会数(地域総括補助金導入団体数)	123 団体	135 団体	128 団体	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	地域総括補助金制度を導入することで、地域団体の連携・協力を図り地域が一体となった住民主体の地域づくり・まちづくりにつながると考え、活動指標に掲げました。 (最終目標と最終年度)平成31年度 137団体			94.8 %			
					順調	順調	
(最終目標と最終年度)				やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	地域総括補助金未導入のまちづくり協議会に対し、区役所コミュニティ支援課と連携して導入の働きかけを行った結果、体制が整わないなどの理由で導入が進まないまちづくり協議会もあり、目標をやや下回りましたが、導入数が増加したことから、順調としました。引き続き、区役所と連携し事業の趣旨や事務等の説明を行い、導入の働きかけに努めます。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	地域総括補助金制度の導入により、これまで各部署が行ってきた「補助金交付」に関する事務について、区役所コミュニティ支援課に集約され効率化が図られています。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
校区まちづくり支援事業については、地域総括補助金の一補助金であるため、平成25年度より「コミュニティ支援機能の充実(地域総括補助金)」に統合します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	コミュニティ支援機能の充実(地域総括補助金)						掲載ページ		
							86		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		410,510	千円	395,213	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	地域振興課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか 平成16年度から市の各部局が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、「地域総括補助金」をまちづくり協議会に交付しています。この補助金の活用により、地域団体の連携・協力を図り、地域が一体となった住民主体の地域づくり・まちづくりを促進します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動計画	区役所コミュニティ支援課と連携して、まちづくり協議会に事業の趣旨等を説明するなど、継続して補助金導入への働きかけを行い、導入団体の増加を図っていきます。								
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】		
	新たな地域づくりに取り組んだまちづくり協議会数(地域総括補助金導入団体数)		123 団体	135 団体	128 団体	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	地域総括補助金制度を導入することで、地域団体の連携・協力を図り、地域が一体となった住民主体の地域づくり・まちづくりにつながると考え、活動指標に掲げました。 (最終目標と最終年度)平成31年度 137団体				94.8 %				
						順調	順調		
(最終目標と最終年度)					やや遅れ				
					遅れ				

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	地域総括補助金未導入のまちづくり協議会に対し、区役所コミュニティ支援課と連携して導入の働きかけを行った結果、体制が整わない等の理由で導入が進まないまちづくり協議会もあり、目標をやや下回りましたが、導入数が増加したことから、順調としました。 引き続き、区役所と連携し事業の趣旨や事務等の説明を行い、導入の働きかけに努めます。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	制度の導入により、これまで各部局で行ってきた「補助金交付」に関する事務について、区役所コミュニティ支援課に集約され効率化が図られています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

<p>まちづくり協議会への働きかけにより、導入する団体数は増えています。 今後は、地域活動が促進されるように、補助金の内容の見直しについて検討を進めていきます。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	市民センターを拠点とした健康づくり事業						掲載ページ		
							86		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		11,786	千円	14,217	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	健康推進課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	市民が主体となって地域の健康課題について話し合い、目標の設定・計画づくり・実践・事業評価を一つのサイクルとして、まちづくり協議会が健康づくり推進員の会、食生活改善推進員協議会と連携し、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、保健師等の支援により健康づくりに取り組む「市民センターを拠点とした健康づくり事業(通称:地域でGO!GO!健康づくり)」により住民主体の健康づくりを推進します。					
活動計画	「地域でGO!GO!健康づくり」の全市的な展開を推進し、地域担当保健師等による支援及び補助金の交付による支援を行います。						
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	「地域でGO!GO!健康づくり」の実施まちづくり協議会数						
	市民が自ら話し合い、地域の健康づくりに取り組んでいく「地域でGO!GO!健康づくり」を拡充することで、市民主体の健康づくりを推進します。 (最終目標と最終年度) 136団:H29年度	108 団体	136 団体	111 団体 81.6 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	(最終目標と最終年度)				順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	保健師等の働きかけにより「地域でGO!GO!健康づくり」を新たに3団体が新規に取り組みを開始しました。各区で開催した活動報告会等が事業のPRにもなり、事業の充実に効果がありません。校区の三世代交流や絆形成に役に立っています。しかし、新規に取組む団体の増え方は緩やかになっています。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	「地域でGO!GO!健康づくり」は、市民自らが地域の状況にあった健康づくりの取り組みを考えるものであり、運営費の一部に補助金を交付し、効果的な活動を推進しています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
事業を実施していない校区への支援方法を検討します。 各区で報告会や交流会を開催し、お互いの活動内容などを情報交換できる機会を提供します。 本事業で築いた地域のつながりを活かし、地域で健康学習を展開していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	乳幼児等医療費支給事業						掲載ページ
							87
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,560,231 千円	2,621,000 千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	乳幼児等の健康の保持と健やかな育成を図るため、乳幼児等の保険診療による医療費の自己負担額を助成します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	現行制度を継続して実施します。					
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	医療費支給制度の維持 制度を維持し、子育てにかかる経済的負担を軽減することで、経済面における子育ての悩みや不安を感じる人の割合は減少すると予想されるため、指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）	-	-	-		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
					大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 制度を維持することで、経済面における子育ての悩みや不安を感じる人の割合の減少につながったと考えられることから、施策に対する効果は高いと考え、順調としました。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 保険診療による自己負担額を助成する制度であり、代替手段は考えられません。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

乳幼児等の健康の保持と健やかな育成を図るため、現行制度を継続して実施します。
--

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	特定不妊治療費助成事業						掲載ページ
							87
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		122,666 千円	125,656 千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	不妊に悩む夫婦が、経済的理由で不妊治療を断念することがないよう、医療費が高額な特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図ります。また、専門の相談窓口を設置し、不妊に関する様々な相談に応じることで、心身の悩みを軽減します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	助成制度の周知を含め、情報誌への掲載や交流会の開催など不妊に関する情報の普及啓発に努めます。指定医療機関の審査を行い、質の向上に努めます。						
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	助成件数		746 件	適切な助成	871 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	不妊に悩む夫婦が経済的理由で不妊治療を断念することがないよう、助成することが必要であることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）						
	相談件数		354 件	増加	428 件	順調 やや遅れ 遅れ	順調
不妊に関する様々な相談に応じ、心身にわたる悩みを軽減することが必要であることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）							

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		助成件数、相談件数ともに増加しており、また、相談内容も多様化に対応するため、相談を受ける専門職のスキルアップや不妊に悩む方の交流会等を実施し、相談体制を充実させたため、順調としました。
		助成内容は国の要綱に基づいて実施しています。今後は、治療費を助成事業するだけでなく、年齢による流産の増加や妊孕性なども考慮し、生涯を通じた女性の健康や働き方なども踏まえて、女性が安全に妊娠できるよう支援する必要があります。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
今年度特定不妊治療助成の制度改正が行われたことから、新制度について事業の周知を図っていきます。また、不妊に関する相談者も増加しており、相談内容も多様になっているため、相談を受ける専門職のスキルアップや不妊に悩む方の交流会等を実施し、さらに、不妊に関する情報の普及啓発に努めるとともに、相談窓口の充実を図る必要があります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	児童手当							掲載ページ	
								87	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		16,051,965	千円	16,202,500	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	児童手当を支給することにより、次代の社会を担う子どもの育ちを支援することを目的とします。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。
----	--------------------	--	------	----------------

活動計画	法令等に基づき、確実に手当を支給します。 平成23年度 子ども手当【廃止】 平成24年度 児童手当【新規】
------	---

	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
活動指標	手当の確実な支給	16,345,949 千円	-	16,051,965 千円	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	法定受託事務であり、法令等に基づいて、手当を確実に支給することが必要であるため、指標に設定しました。 （最終目標と最終年度）					
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 法令等に基づき、確実に手当を支給したことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 法定受託事務であり、支給要件・手当額が全国一律に定められているため、評価に馴染まないと考えています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

法定受託事務であり、法令等に基づいて、手当を確実に支給します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	母子寡婦福祉資金貸付金制度の利用促進						掲載ページ
							87
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		230,022 千円	423,366 千円	施策名	子育ての悩みや不安の対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	母子家庭や寡婦の経済的自立の促進および生活意欲の向上を図るため、貸付の利用を促進します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	母子家庭等の生活の安定と向上を図るため、引き続き、貸付事業を継続します。					
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	貸付件数	625 件	—	491 件		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	就業による自立を促進することは重要であることから、母子家庭等の就業や子育て・生活を支援する施策の利用件数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度)					大変順調
					順調	順調
(最終目標と最終年度)				やや遅れ		
				遅れ		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	貸付事業の実施により、母子家庭等の子どもの修学、母親の資格取得等を助け、生活の向上と安定に寄与しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	母子及び寡婦福祉法に定められた事業であり、金額等は法律等で規定されています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

母子家庭等の生活の安定と向上を図るため、引き続き、貸付事業を継続します。なお、26年10月より、貸付対象に父子家庭を加える予定です。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	ひとり親家庭等医療費支給事業						掲載ページ		
							87		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		872,106	千円	862,402	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	母子家庭の母または父子家庭の父及び児童、父母のない児童の健康の向上と福祉の増進を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成します。			
活動計画	現行制度を継続して実施します。		活動実績	活動実績は下記のとおりです。	
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→ 【活動の状況】
	医療費支給制度の維持	—	—	—	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
	制度を維持し、母子家庭等の経済的負担を軽減することで、経済面における悩みや不安を感じる人の割合は減少すると予想されるため、指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）				
	 （最終目標と最終年度）				順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	制度を継続して実施し、経済面における悩みや不安を感じる人の割合の減少につながったと考えられ、施策に対する効果は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保険診療による自己負担額を助成する制度であり、代替手段は考えられません。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

ひとり親家庭等の健康の向上と福祉の増進を図るため、現行制度を継続して実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	児童扶養手当						掲載ページ
							87
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		5,557,174 千円	5,629,557 千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し、もって児童の福祉の増進を図ることを目的としています。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	法令等に基づき、確実に手当を支給します。						
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	手当の確実な支給	5,583,787 千円	-	5,557,174 千円	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	法定受託事務であり、法令等に基づいて、手当を確実に支給することが必要であるため、指標に設定しました。 (最終目標と最終年度)						
						やや遅れ	
(最終目標と最終年度)				遅れ		順調	

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析 「経済性」 「効率性」 の分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		法令等に基づき、確実に手当を支給し、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与していることから、順調としました。 法定受託事務であり、支給要件・手当額が全国一律に定められているため、評価に馴染まないと考えています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
法定受託事務であり、法令等に基づいて、手当を確実に支給します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	母子公費負担医療費助成および医療給付							掲載ページ	
								88	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		262,561	千円	321,256	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価					
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	妊娠中の疾病や未熟児・心身障害児の重症化を抑制するとともに、保護者の医療費負担の軽減などを図るため、医療の給付や医療費の公費負担を行います。また、保護者の心身の負担軽減や療育生活の充実を図るため、家庭訪問等による支援を実施します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動計画	妊娠中の疾病や未熟児・心身障害児の重症化を抑制するとともに、保護者の医療費負担の軽減を図るために、事業の継続します。								
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	→	【活動の状況】			
	小児慢性特定疾患の給付実人数 疾病の重症化を抑制するとともに、経済的負担を軽減するため、公費助成は必要であることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）		682 人	-		692 人	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	自立支援医療（育成医療）の給付実人数 障害の重症化を抑制するとともに、経済的負担を軽減するため、公費助成は必要であることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）		176 人	-		154 人			
	未熟児養育医療の給付実人数 未熟児の養育に必要な医療について、経済的負担を軽減するため、公費助成は必要であることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）		217 人	-		219 人			
						順調			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	公費助成を行うことで、経済的負担を軽減し、各疾患の疾病や障害の重症化を抑制するできていると考え、順調としました。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	母子保健法、児童福祉法、自立支援法及び国の要綱等に基づき実施し、医療各保険法に基づく医療費助成のため、制度を維持することは必要です。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
疾病や未熟児、心身障害児の重症化を抑制するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るため、事業の継続は必要です。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	新生児聴覚検査事業							掲載ページ	
								88	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		12,843	千円	14,100	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 聴覚の障害を早期に発見し療育を開始することで、コミュニケーション形成や言語発達に効果が得られるため、新生児に対して行う聴覚検査費用の一部を助成します。また、検査で聴覚障害が発見された場合には、早期療育に取り組むための支援を行います。								
活動計画	聴覚の異常を早期に発見し支援することで、言語発達に効果があることから、関係機関と連携を図りながら、事業を継続します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。						
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】			
	聴覚検査実施件数	6,625 件	適切な実施	6,505 件		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
	早期に発見することで早期療育につながることから、活動指標となりました。 （最終目標と最終年度）					大変順調			
	（最終目標と最終年度）					順調			
	（最終目標と最終年度）					やや遅れ			
	（最終目標と最終年度）					遅れ			

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成25年度は、新生児6,505人が検査を受けており、その結果、精密検査が必要な乳児に対して、保健師等が訪問などを実施してフォローアップを実施できたことから、順調としました。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	聴覚の異常を早期に発見するための検査として有効です。現在、検査料の半額は自己負担としています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後も、関係機関と連携しながら、この検査が早期発見、早期療養に繋がるよう支援をしていきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保育所措置費用負担金の軽減						掲載ページ		
							88		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		852,194	千円	946,423	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育所措置費用負担金(保育料)は、国の示す徴収金基準額に基づいて定めることを基本としています。本市では、保護者の負担を軽減するため、市独自の軽減措置に努めます。						
活動計画	保育所入所児童世帯の保育料負担軽減を維持します。						活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)		前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	保育料軽減率		18.1 %	19.7 %	18.1 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	保育料は、国がその世帯の所得税や市民税課税額の階層区分に応じて基準額を定めています。本市においては、市民の負担をできるだけ軽くするため、国の8階層の区分を16階層に細分化して、国の基準額から全体で約20%の軽減を図っています。保育料の負担軽減状況を測るには、保育料軽減率が適当と考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)				91.9 %			
							順調	
(最終目標と最終年度)					遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画どおり保育料の負担軽減の維持に努め、保護者の負担を軽減したことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	市独自の保育料軽減措置により、保護者の負担を軽減しています。本市の保育料負担軽減率は、政令市の中でも低い軽減率(20政令市中19位)であり、経済性を考慮して、今後も維持していくこととしています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
厳しい財政状況の中、保護者の負担を軽減するため、今後も、保育料負担軽減措置の維持に努めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	障害児福祉手当						掲載ページ		
							88		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		101,547	千円	102,000	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	障害福祉課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	日常生活において、常時、特別な介護を必要とする20歳未満の在宅の重度の障害のある子どもに対し、その障害によって生じる特別な負担の軽減を図ることを目的として手当を支給します。						
活動計画	全国一律に支給基準が定められています。適正な事務の執行を行います。						活動実績	活動実績は下記のとおりです。
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】		
	支給者数	584 名	維持	595		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	日常生活において、常時、特別な介護を必要とする在宅の20歳未満の子どもに対し、その障害によって生じる特別な負担の軽減を図ることを目的として手当を支給します。 <small>（最終目標と最終年度）</small>							
	<small>（最終目標と最終年度）</small>					大変順調	順調	
						順調 やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	特別児童扶養手当等の支給に関する法律・施行令に基づき支給しています。障害のある子どもがいる世帯の負担軽減に寄与しています。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	法定給付であるため、支給要件、手当額等は全国一律に定められています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
本事業は、障害のある子どもがいる世帯の負担軽減に寄与する法定給付であるため、法律に基づき継続して実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	特別児童扶養手当							掲載ページ	
								88	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		290	千円	388	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	障害福祉課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	身体障害・知的障害・精神障害の状態（重度・中度）にある20歳未満の障害のある児童を扶養している父母等に手当を支給します。								
活動計画	全国一律に支給基準が定められています。適正な事務の執行を行います。								活動実績	活動実績は下記のとおりです。
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】			
	支給者数				1,531 名		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
	身体障害・知的障害・精神障害の状態（重度・中度）にある20歳未満の児童を扶養している父母等に手当を支給します。 （最終目標と最終年度）		1350 名	維持		大変順調				
	（最終目標と最終年度）						順調	順調		
	（最終目標と最終年度）					やや遅れ				
	（最終目標と最終年度）					遅れ				

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	特別児童扶養手当等の支給に関する法律・施行令に基づき、支給しています。障害のある子どもがいる世帯の負担軽減を行います。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	法定給付であるため、支給要件、手当額等は全国一律に定められています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

本事業は、障害のある子どもがいる世帯の負担軽減に寄与する法定給付であるため、法律に基づき継続して実施します。
また、地方分権一括法（平成26年6月4日公布）により、平成27年4月1日から特別児童扶養手当の認定業務が県から市へ権限移譲される予定。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	重度障害者医療費支給制度						掲載ページ		
							88		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		3,781,408	千円	3,842,000	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	障害福祉課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	重度の障害のある子どもの健康の保持及び福祉の増進を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成します。			
活動計画	現行制度を継続して実施します。		活動実績	活動実績は下記のとおりです。	
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→ 【活動の状況】
	医療費支給制度の維持	-	-	-	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	制度を維持し、重度の障害のある子どもを育てる家庭の経済的負担を軽減することで、経済面における子育ての悩みや不安を感じる人の割合は減少すると予想されるため、指標として設定しました。 <small>（最終目標と最終年度）</small>	-	-	-	
					大変順調
					順調
					やや遅れ
					遅れ

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	重度の障害のある子どもを育てる家庭において、経済面における子育ての悩みや不安を感じる人の割合の減少につながったと考えられ、施策に対する効果は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	制度上、代替手段等によるコスト削減は考えられません。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

<p>重度の障害のある子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、現行制度を継続して実施します。</p>
--

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	重度障害者タクシー乗車運賃助成事業						掲載ページ		
							88		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		85,026	千円	87,218	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	障害福祉課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	在宅の重度障害児(者)の社会参加の促進を図るため、タクシーの乗車運賃の一部を助成し、重度障害児(者)の外出を支援します。	活動実績	活動実績は下記のとおりです。		
活動計画	今後も制度の適正利用の広報を行うとともに、必要に応じて個別の指導を行います。また、市政だよりやホームページへの掲載により助成制度の周知も努めます。					
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】
	重度障害者タクシー乗車運賃助成者数	4,755 人	増加	4,799 人		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	「助成者数」の増加が、利用者の活動・外出を支える満足度の高いサービスであることの判断基準となるため、成果指標として掲げました。 <small>（最終目標と最終年度）</small>					大変順調
						順調
	<small>（最終目標と最終年度）</small>				やや遅れ	順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析 「経済性」 「効率性」 の分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 当事業は、公共交通機関の利用が困難な重度障害児(者)の移動を確保するものであり、障害者の社会参加を実現する有効な事業と考えます。また、利用実績は前年度より増加しており、「活動の状況」は順調と判断しています。 当事業は、対象者に利用券を交付し、月4回タクシーを利用した際の初乗り運賃額を助成するものですが、利用券本体に利用月を印刷するなど、適正利用のための改善を図っています。
------------------	--	--

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後とも、市政だよりやホームページへの掲載により、助成制度やその適正利用の周知を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	北九州市国民健康保険出産育児一時金の給付						掲載ページ		
							88		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		519,446	千円	562,800	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	保険年金課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	出産育児に係る経済的負担を軽減するため、他の健康保険で実施されている制度と同様、出産時に世帯主に対して、出産育児一時金を支給します。また、平成21年10月からは被保険者への負担軽減をより一層進めるため、国民健康保険から医療機関等に出産に係る費用を直接支払う制度（直接支払制度）を実施しています。			
活動計画		出産した被保険者がいる世帯に対して出産育児一時金を支給します。直接支払制度を利用している場合は医療機関等に支払いを行います。また、差額支給がある場合は世帯主に届出勧奨を行います。			活動実績 国保てびきやホームページを通じて制度の広報を行いました。また、差額支給がある世帯に対しては、届出の勧奨を行いました。
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→ 【活動の状況】
	出産育児一時金の支給件数	1,340 件	—	1,216 件	大変順調
	上記指標により、国民健康保険の被保険者が出産した場合の世帯主に対する出産育児一時金の支給状況が把握できるため、指標として設定 （最終目標と最終年度）				
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	国民健康保険の被保険者が出産した世帯から申請が出されており、出産に係る費用の負担軽減に大きな効果があったと考えています。また、本制度は、出産に係る費用の軽減のため、他の健康保険も実施している事業であり、本市国民健康保険についても、国民健康保険法第58条等により給付するものと考えます。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	他の健康保険も同じように実施している制度であり、適切なコスト設定であると考えています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

現状を維持します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	国民健康保険の減免制度（多子減免制度）						掲載ページ
							89
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局
		183,613 <small>（3月末時点減免額）</small>	千円	187,238	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応
							保健福祉局 保険年金課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 子育て支援の観点から、2人以上の子等を扶養する世帯の国民健康保険料の一部を減免する制度です。				活動実績	実績は下記のとおりです。	
活動計画	前年の世帯の総所得金額等が300万円以下で、18歳未満の2人以上の子等を扶養する世帯において、国民健康保険料のうち所得に対する部分（所得割額）を減額する制度を実施します。						
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） <small>（上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	多子減免該当者への申請書（往復はがき）の送付と減免申請の促進		15,324 件 <small>（送付・窓口受領総件数）</small>	-	14,689 件 <small>（送付・窓口受領総件数）</small>	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	子育て支援の観点から、子育てをしている一定の条件を満たす世帯を抽出し、世帯主の申請に基づき所得割額の一部を減免するため、申請書を送付し減免申請の促進を図るものです。 <small>（最終目標と最終年度）</small>						
						順調	大変順調
<small>（最終目標と最終年度）</small>					やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	毎年6月に対象世帯あて申請書（往復はがき）を一括送付し、新規加入、出生等で新たに対象となった世帯には月ごとに申請書を送付し、減免制度の促進を図りました。また、10月と2月に対象となる未申請世帯に対して申請書を再送付し、減免申請の促進を図りました。子育て支援の減免制度として有効に機能していると思われま。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国保システムでの運用により経済的、効果的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

<p>事業の進捗は順調です。今後とも、子育て支援の観点から多子減免制度の維持を目指します。また、市政だよりやパンフレット等を通じて多子減免制度のPR活動に努め、幅広く周知を図ります。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	私立幼稚園就園奨励事業						掲載ページ		
							89		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,489,293	千円	1,935,242	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 各世帯の所得状況に応じて就園奨励費補助を行うことにより、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正や保護者の経済的負担の軽減を図ります。						活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	国の平成25年度の基準額は、子どもの人数により補助基準額を変動させ、多子世帯に配慮した見直しが行われるため、本市も同様に見直しを行います。また、国の基準を上回る所得層に対しては、市独自の基準を設けて補助を行い、引き続き保護者の経済的負担の軽減を図ります。実施に当たっては、各私立幼稚園を通じて保護者へ補助金を交付します。							
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】	
	補助対象人数		14,793 人	—	14,984 人		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	子どもが私立幼稚園に通う世帯への補助であることから補助対象人員を指標としました。 （最終目標と最終年度）							
			園	園		大変順調	順調	
（最終目標と最終年度）					順調 やや遅れ 遅れ			

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	国の補助単価の改定にあわせて、補助額等の引き上げを行うことにより、保護者への経済的負担の軽減を図りました。 また、国の基準を超える世帯に対しても、市の独自基準を適用して補助を実施していることから順調としました。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	補助金を各世帯から直接申請・支給するのではなく、各幼稚園の設置者を介して申請及び支給することにより、関係書類の送付費用等の節減や事務の効率化に努めています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差の是正が図られています。今後とも、国の制度改正、補助単価改定等にあわせて、保護者負担の軽減を図っていく必要があります。